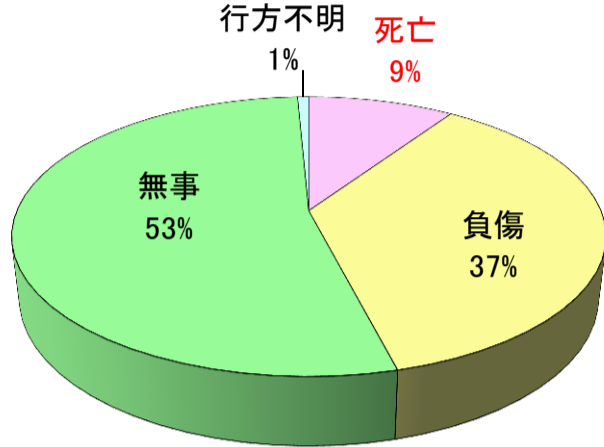


山岳遭難発生状況(平成28年)

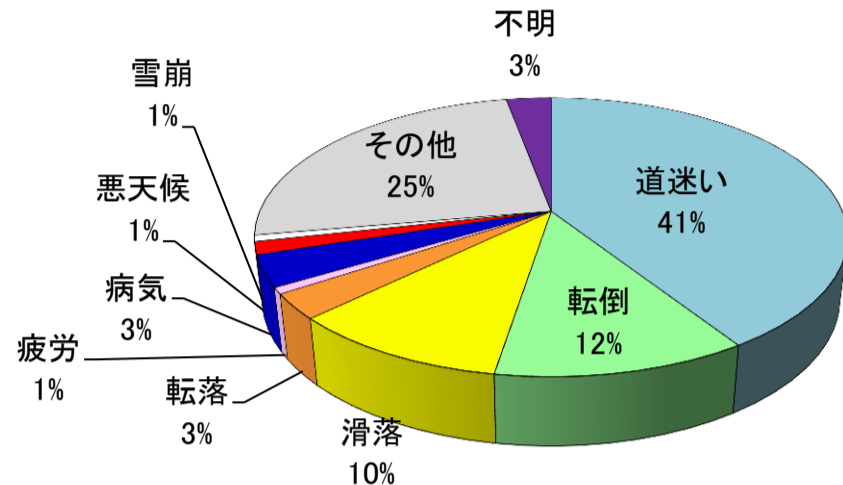
平成28年12月末現在

分類	発生件数	遭難者数	遭難者の死傷等別(人数)				遭難原因別(人数)										
			死亡	負傷	無事	行方不明	道迷い	転倒	滑落	転落	疲労	病気	悪天候	雪崩	その他	不明	合計
山岳遭難 (山菜採り遭難を除く)	119	137	13	50	73	1	56	16	14	4	1	5	2	1	34	4	137
うちバックカントリー スキー遭難	47	57	5	15	37	0	32	6		2		1	1	1	14		57
うちスキー	39	49	2	13	34	0	29	4		2		1			13		49

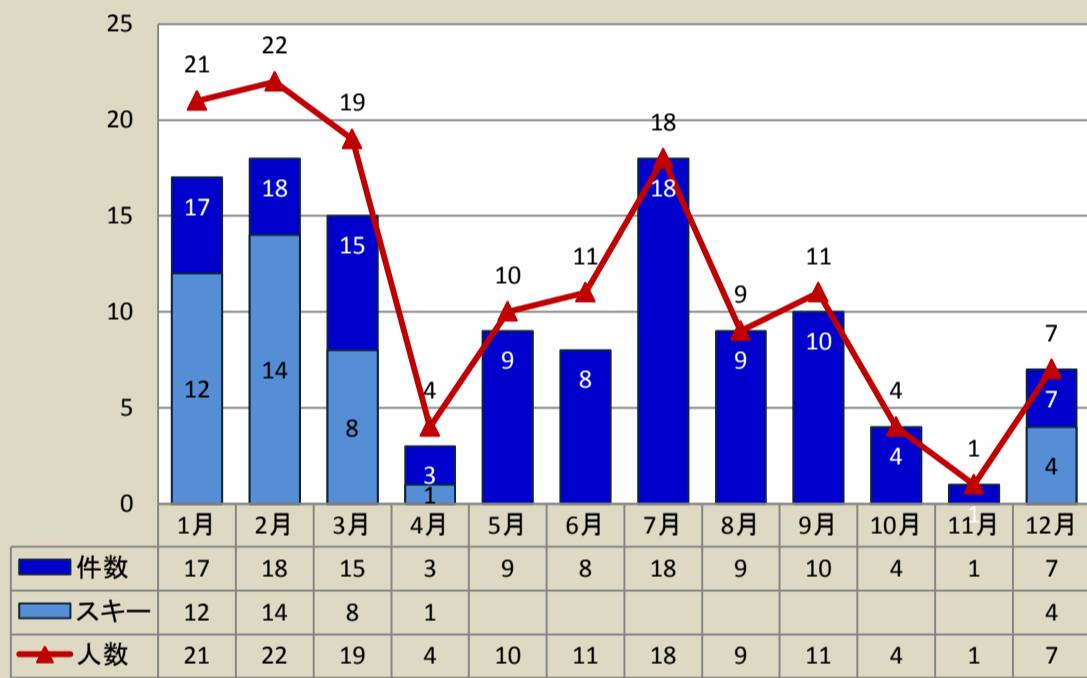
山岳遭難者の死傷等別割合(人数)



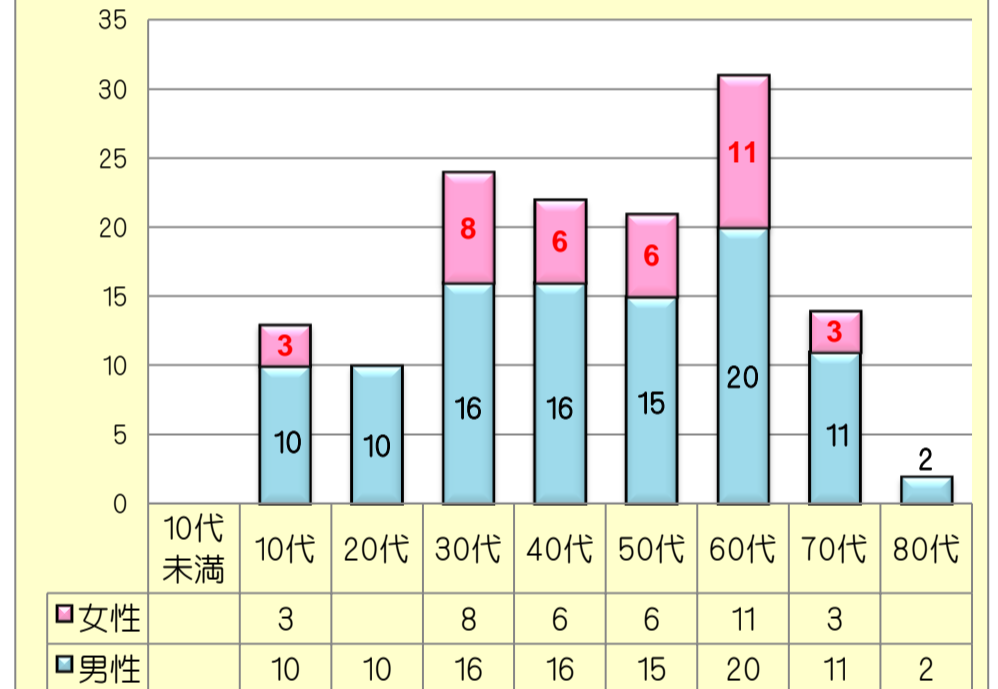
遭難原因別割合(人数)



月別遭難発生状況(件数・人数)



遭難者の年齢層別(男女別)人数



- この統計には山菜採り遭難が含まれていません。
- 平成26年まではスキー場内からコース管理区域外に出て遭難した事案を山岳遭難統計に含めていませんでしたが、平成27年から同事案を山岳遭難統計に含めています。
近年のいわゆるバックカントリースキー(スノーボードを含む。)ブームに伴い、警察ではスキー場コース外(管理区域外)の山岳地において、スキーやスノーボードなどによる滑降を目的に入山し、山中において遭難した事案をバックカントリースキー遭難として山岳遭難統計に計上しています。
- 番号欄の数字が青色太字はバックカントリースキー遭難、背景色が水色はスキー場コース内から管理区域外に出て遭難した事案等、登山行為を伴わないものです。

番号	発生日	曜日	山岳名、標高、市町村名	遭難者								事案概要
				構成人数	遭難者数	居住地	性別	年齢	職業	態様	原因	
1	1月9日	土	ニセコアンヌプリ 標高1308m (虻田郡倶知安町、ニセコ町)	5	1	イギリス	男	40代	その他	負傷	その他 (立木衝突)	遭難者は、知人と5人でニセコグランヒラフスキー場に訪れ、午前8時頃から花園第3リフトを利用して5番ゲートからスキー場管理区域外に出てスノーボードで滑走中、深雪に足をとられて制御不能となり、立木に衝突して右足を負傷、同所を通りかかった一般スキー客が遭難者を発見してスキーパトロールに通報(スキーパトロールが遭難者を救助)
2	1月9日	土	朝里岳(あさりだけ) 標高1281m (札幌市南区、小樽市)	2	2	北海道	男	10代	高校生	無事	道迷い	遭難者2人は、札幌国際スキー場に訪れ、午前9時頃からスキーとスノーボードに分かれてスキー場コース内で滑っていたが、同日3時30分頃、ダウンヒルコース南側の沢筋を滑っていくスキーヤーを見て、自分たちも滑れるだろうと思いスキー場管理区域外に出て沢筋を滑ったが、スキー場コースに戻ることが出来ず、同日午後4時45分頃、119番通報し、救助要請(※消防救助隊及びスキーパトロールが出勤し、遭難者を発見救助)
						北海道	男	10代	高校生	無事	道迷い	
3	1月10日	日	手稲山(ていねやま) 標高1024m (札幌市手稲区、西区)	2	2	アメリカ	男	40代	自営業	無事	道迷い	遭難者2人は、サップロティネススキー場に訪れ、午前10時頃からハイランドゾーンのスキー場管理区域外に出てスキーをしていたが、同日午後4時50分頃、日没で周囲が暗くなり、スキー場のコース内に戻ることができなくなり、身の危険を感じて110通報し、救助要請(※消防救助隊が遭難者を発見救助)
						アメリカ	女	30代	自営業	無事	道迷い	
4	1月12日	火	貫気別山 (ぬっきべつやま) 標高994m (虻田郡留寿都村)	2	1	中国	男	50代	不詳	無事	道迷い	遭難者は、友人と2人でルスツリゾートスキー場に訪れ、同日午後4時頃、イーストエリア山頂からビバルディコース西側のスキー場管理区域外に出てスキーをしていたところ方向を見失い道に迷い、仲間の姿が見えなくなり心配した同行者がルスツリゾートスキー場の関係者に連絡して救助要請(※スキーパトロール隊が遭難者を発見救助)

5	1月14日	木	旭岳(あさひだけ) 標高2291m (上川郡東川町)	2	1	ドイツ	男	30代	会社員	無事	道迷い	遭難者は、友人と2人でスノーボードをするため、午前10時頃、旭岳ロープウェイ姿見駅から旭岳山頂を目指してスノーシューで入山したが、同日午後0時頃、天候が悪化して吹雪となり、登頂を断念して引き返したが、同日午後1時頃、下山中に吹雪による視界不良で遭難者とはぐれてしまい、同日午後5時頃、姿見駅まで下山した同行者が旭岳ロープウェイ職員に救助要請(※旭岳ロープウェイ職員が遭難者を発見救助)
6	1月15日	金	北の峰(きたのみね) 標高1084m (富良野市)	2	2	北海道	男	10代	小学生	無事	道迷い	遭難者2人は、富良野スキー場に訪れ、スキーをするため北の峰ゴンドラで山頂に上がったところ、スキー場コースとは反対方向にスキーで滑った跡があるのを見つけ、同所方向がスキー場コースと勘違いしてスキー場管理区域外に出てしまい、その後、スキー場コースに戻るが出来なくなったため、同日午後3時30分頃、LINEで家族に連絡(※スキーパトロールが遭難者2人を発見救助)
						北海道	男	10代	小学生	無事	道迷い	
7	1月17日	日	貫気別山 (ぬっきべつやま) 標高994m (虻田郡留寿都村)	2	1	大阪府	男	20代	団体職員	無事	道迷い	遭難者は、友人とルスツリゾートスキー場に訪れ、午後3時30分頃、マウントイゾラ頂上からスノーボードで滑り、イゾラグラン迂回コースから立入禁止ロープを越えてスキー場管理区域外に出て滑走中、同日午後4時10分頃、スキー場コースの方向を見失い道に迷う(※スキーパトロール隊が遭難者を発見救助)
8	1月20日	水	藻岩山(もいわやま) 標高531m (札幌市南区)	1	1	東京都	男	20代	会社員	無事	その他 (装備不備)	遭難者は、午前11時50分頃、藻岩山登山道(慈恵会コース)入口から軽装備(登山用とは別の一般的な革靴)で入山し、藻岩山中腹から引き返して下山を開始したが、登山口まで残り400~500メートル付近で足先が冷たくなり、その後、低体温症で動けなくなり、同所を通りかかった登山者に救助要請(※消防救助隊が遭難者を救助)
9	1月23日	土	手稲山(ていねやま) 標高1024m (札幌市手稲区、西区)	1	1	北海道	男	30代	会社員	無事	道迷い	遭難者は、サッポロテネスキー場に訪れ、午前9時30分頃からハイランドゾーンの北壁コースからスキー場コース管理区域外に出てスキーで滑走中、同スキー場から北西方向の林道に迷い込み、スキー場に戻る事ができなくなり、同日午前11時30分頃、119通報し、救助要請(※道警ヘリが遭難者を発見救助)
10	1月24日	日	ニセコアンヌプリ 標高1308m (虻田郡倶知安町、ニセコ町)	6	1	フランス	男	40代	会社役員	負傷	その他 (立木衝突)	遭難者は、午後0時頃、ニセコアンヌプリ国際スキー場西側のG2ゲートからスキー場コース管理区域に出てスキーで滑走中、同日午後0時5分頃、深雪に足をとられてバランスを崩し、立木に衝突して右膝を負傷(※スキーパトロール隊が遭難者を救助)
11	1月25日	月	手稲山(ていねやま) 標高1024m (札幌市手稲区、西区)	3	1	オーストラリア	男	30代	会社役員	無事	道迷い	遭難者は、午後3時50分頃、サッポロテネスキー場ハイランドゾーンの北壁コースを仲間とスキーをしていたが、同日午後3時55分頃、単独でスキー場コース管理区域外に出て、樹林帯をスキー滑走中に道に迷う。(※同日午後4時10分頃、遭難者の仲間から届出を受けたスキー場関係者が119番通報、同日午後4時40分頃、滝の沢川下流に所在する宮町浄水場に遭難者が自力下山)
12	1月27日	水	神居山(かむいやま) 標高799m (旭川市)	3	1	北海道	男	10代	中学生	負傷	転倒	遭難者は、学校のスキー授業でカムイスキーリンクスに来ていたが、午後1時20分頃、スキー授業のフリー練習中、スキー場コース管理区域外に出てスキー滑走中、斜面の段差でバランスを崩し、転倒して左足を負傷(※スキーパトロール隊が遭難者を救助)
13	1月28日	木	手稲山(ていねやま) 標高1024m (札幌市手稲区、西区)	2	2	アメリカ	男	30代	会社役員	無事	道迷い	遭難者2人は、午前10時頃からサッポロテネスキー場ハイランドゾーンでスノーボードをしていたが、同日午後3時頃、シティビュークルーズコースからスキー場コース管理区域外に出て滑走中、永峰沢川上流部で道に迷い、同日午後3時15分頃、遭難者本人が救助要請(※スキーパトロール隊が遭難者を発見救助)
						アメリカ	女	30代	医師	無事	道迷い	
14	1月30日	土	ニセコアンヌプリ 標高1308m (虻田郡倶知安町、ニセコ町)	1	1	北海道	男	40代	会社員	負傷	転倒	遭難者は、午前9時40分頃、ニセコアンヌプリ国際スキー場西側のG2ゲートからスキー場コース管理区域に出てスノーボードで滑走中、同日午前9時50分頃、深雪に足をとられてバランスを崩して転倒し、左足を負傷、同日午前9時55分頃、スキー場事務所に救助要請(※スキーパトロール隊が遭難者を救助)
15	1月31日	日	大沼山(おおぬまやま) 標高1112m (札幌市南区、京極町)	2	1	北海道	女	60代	無職	無事	道迷い	遭難者は、友人と2人で豊羽鉱山から山スキーで入山し、同日午前11時55分頃、大沼山山頂から山スキーで下山を開始したが、先行した友人とはぐれてしまい、下山途中で携帯電話の電波が微弱となり、GPS機能が使えなくなり道に迷う。(※同行者が午後2時30分頃、110番通報し、救助要請、同日午後4時頃、遭難者が自力下山)
16	1月31日	日	余市岳(よいちだけ) 標高1488m (札幌市南区、余市郡赤井川村)	9	1	北海道	男	30代	会社員	負傷	その他 (立木衝突)	遭難者は、スノーモービル仲間と9台9人で余市岳に入山し、余市岳北東斜面をスノーモービルで走行中、運転操作を誤り、立木に衝突して右足を負傷、同日午前11時35分頃、スノーモービル仲間が消防に通報し、救助要請
17	1月31日	日	白雲岳(はくうんだけ) 標高2230m (上川郡上川町、美瑛町)	1	1	神奈川県	男	40代	会社員	死亡	不明	遭難者は、1月30日から2月1日までの2泊3日の計画で旭岳姿見駅からスノーシューで入山し、旭岳から白雲岳避難小屋を経由し忠別岳まで往復登山の予定であったが、下山予定日を過ぎても下山しないため、家族からの要請を受け道警山岳遭難救助隊が遭難者の捜索したところ、同年2月3日、白雲岳周辺において遭難者のテントのみを発見。【平成28年7月12日、旭岳7合目(地獄谷の上部)付近で発見、遭難者本人と確認された】
18	2月1日	月	ニセコアンヌプリ 標高1308m (虻田郡倶知安町、ニセコ町)	4	1	オランダ	男	30代	その他	負傷	その他 (立木衝突)	遭難者は、友人と4人でニセコグランヒラフスキー場に訪れ、同日午後0時20分頃、花園コースのスキー場コース管理区域外に出てスノーボードで滑走中、脇見をした際に立木に衝突し、腰部及び胸部を負傷、同日午後0時25分頃、一緒にいた仲間がスキーパトロール隊に救助要請(※スキーパトロール隊が遭難者を救助)
19	2月2日	火	ニセコアンヌプリ 標高1308m (虻田郡倶知安町、ニセコ町)	1	1	オーストラリア	男	30代	不詳	無事	道迷い	遭難者は、ニセコグランヒラフスキー場に訪れ、同日午後4時頃、花園コースからスキー場コース管理区域外に出てスノーボードで滑走中、方向を見失い、同日午後4時20分頃、道に迷い、スキー場にいた家族に電話連絡し救助要請(※スキーパトロール隊が遭難者を発見救助)
20	2月10日	水	ニセコアンヌプリ 標高1308m (虻田郡倶知安町、ニセコ町)	1	1	北海道	男	50代	無職	死亡	病気 (心疾患)	遭難者は、午後0時頃、ニセコアンヌプリ国際スキー場のゴンドラに乗車後、同スキー場東側のスキー場コース管理区域外に出てスキーをしていたが、同日午後0時20分頃、スキー場コース管理区域外の雪面上で心肺停止の状態で見つかるのを同所を通りかかったスキーヤーが発見、同日午後0時25分頃、119番通報(※スキーパトロール隊が遭難者を搬送) 遭難者の死因は、心筋梗塞

21	2月10日	水	ニセコアンヌプリ 標高1308m (虻田郡倶知安町、 ニセコ町)	3	1	中国	女	30代	会社員	無事	道迷い	遭難者は、友人と3人でニセコグランヒラフスキー場に訪れ、午後3時頃から同スキー場の花園コースでスノーボードをしていたが、同日午後3時30分頃、単独でスキー場コース管理区域外に出て滑走中、同日午後4時頃、方向を見失い道に迷い、友人を介してスキー場関係者に救助要請（※スキーパトロール隊が遭難者を発見救助）
22	2月16日	火	手稲山(ていねやま) 標高1024m (札幌市手稲区、西区)	2	1	スイス	女	30代	専門学校生	無事	道迷い	遭難者は、友人と2人でサッポロテイネススキー場に訪れ、ハイランドゾーンでスノーボードをしていたが、同日午後4時30分頃、友人と別れてパノラマ1号リフト南側のスキー場コース管理区域外に出てスノーボードで滑走中、方向を見失い道に迷い、同日午後4時33分頃、一緒に滑っていた友人が119番通報し、救助要請（※道警ヘリが遭難者を発見救助）
23	2月17日	水	貫気別山 (ぬっきべつやま) 標高994m (虻田郡留寿都村)	2	2	オーストラリア	男	30代	不詳	無事	道迷い	遭難者2人は、ルスツリゾートスキー場を訪れ、マウントイゾラ南側のスキー場コース管理区域外に出てスノーボードをしていたが、午前11時30分頃、方向を見失い道に迷い、携帯電話で友人に救助要請（※スキーパトロール隊が重兵衛沼付近で遭難者2人を発見救助）
						オーストラリア	男	30代	不詳	無事	道迷い	
24	2月19日	金	貫気別山 (ぬっきべつやま) 標高994m (虻田郡留寿都村)	2	2	北海道	男	70代	不詳	無事	道迷い	遭難者2人は、ルスツリゾートスキー場を訪れ、マウントイゾラ南側のスキー場コース管理区域外に出てスキーをしていたが、午後1時頃、方向を見失い道に迷い、携帯電話でスキー場関係者に救助要請（※スキーパトロール隊が重兵衛沼付近で遭難者2人を発見救助）
						北海道	男	70代	不詳	無事	道迷い	
25	2月19日	金	朝里岳(あさりだけ) 標高1281m (札幌市南区、小樽市)	4	1	北海道	男	20代	会社員	負傷	その他 (立木衝突)	遭難者は、午前8時30分頃、友人3人とキロロスノーワールドスキー場に訪れていたが、同日午後2時20分頃、朝里コース第2イグジットからスキー場コース管理区域外に出てスノーボードで滑走中、水分を多く含んだ重い雪質だったため、スノーボードの制御ができなくなり、太さ約20センチメートルの立木に衝突して左足を負傷、同日午後2時50分頃、一緒にいた友人がスキー場関係者に救助要請（※スキーパトロール隊が遭難者を救助）
26	2月20日	土	ニセコアンヌプリ 標高1308m (虻田郡倶知安町、 ニセコ町)	7	1	オーストラリア	女	40代	不詳	負傷	転倒	遭難者は、午前9時頃、ガイドツアー7人でニセコアンヌプリスキー場に訪れ、スキーをしていたが、同日午前10時15分頃、3番ゲートからスキー場コース管理区域外に出てスキー滑走中、ターンした際にスキー板が引っかかり転倒し、右膝を負傷、引率ガイドがガイド会社を介してスキー場関係者に救助要請（※スキーパトロール隊が遭難者を救助）
27	2月20日	土	ニセコアンヌプリ 標高1308m (虻田郡倶知安町、 ニセコ町)	3	1	カナダ	女	10代	大学生	負傷	転倒	遭難者は、午前9時頃、家族3人でニセコアンヌプリスキー場に訪れ、G1ゲートからスキー場コース管理区域外に出てスキーをしていたが、同日午前11時30分頃、スキーでターンした際にスキー板を引っかけて転倒し、左膝を負傷、同日11時45分頃、同行者が下山してスキー場関係者に救助要請（※スキーパトロール隊が遭難者を救助）
28	2月20日	土	ニセコアンヌプリ 標高1308m (虻田郡倶知安町、 ニセコ町)	4	1	東京都	男	40代	その他	死亡	その他 (立木衝突)	遭難者は、知人と4人でニセコグランヒラフスキー場に訪れ、花園コースでスキーをしていたが、午後0時頃、スキー場コース管理区域外の通称「東尾根」をスキーで滑走中、立木に衝突して腰部等を負傷、同日午後0時50分頃、一緒にいた知人がスキー場関係者に救助要請（※スキーパトロール隊が遭難者を搬送） 遭難者の死因は、骨盤骨折による失血死
29	2月23日	火	ニセコアンヌプリ 標高1308m (虻田郡倶知安町、 ニセコ町)	2	2	韓国	女	40代	無職	無事	その他 (装備不備)	遭難者(親子)2人は、ニセコグランヒラフスキー場に訪れ、スキーをしていたが、午前10時50分頃、地理不案内のため他のスキーヤーの後をついて行き、5番ゲートからスキー場コース管理区域外に出てしまい、その後、遭難者(女児)が転倒した際にスキー板を紛失して深雪のためその場から動けなくなり、同日午前11時10分頃、同所を通りかかったスキーヤーに救助要請。（※スキーパトロール隊が遭難者2人を発見救助）
						韓国	女	10代	小学生	無事	その他 (装備不備)	
30	2月25日	木	ニセコアンヌプリ 標高1308m (虻田郡倶知安町、 ニセコ町)	2	1	北海道	男	30代	その他	負傷	その他 (立木衝突)	遭難者は、知人と2人でニセコグランヒラフスキー場に訪れ、午前8時30分頃からスノーボードをしていたが、同日午前9時30分頃、4番ゲートからスキー場コース管理区域外に出てスノーボードで滑走中、同日午前10時30分頃、樹林帯の立木を避けきれず衝突し、左足を負傷、同日午前10時50分頃、同行者がスキー場関係者に救助要請（※スキーパトロール隊が遭難者を救助）
31	2月27日	土	手稲山(ていねやま) 標高1024m (札幌市手稲区、西区)	2	2	北海道	女	70代	無職	無事	道迷い	遭難者2人は、サッポロテイネススキー場のハイランドゾーンに訪れ、スキーをしていたが、午前10時頃、パノラマ1号リフト南側のスキー場コース管理区域外に出てスキーで滑走中に方向を見失い道に迷い、同日午前11時頃、知人を介して119番通報し、救助要請（※札幌消防ヘリが遭難者を発見救助）
						北海道	女	60代	団体職員	無事	道迷い	
32	2月28日	日	野塚岳(のづかだけ) 標高1353m (浦河町、広尾町)	9	1	北海道	女	50代	団体職員	負傷	滑落	遭難者は、9人パーティーで午前8時頃、野塚トンネル付近駐車帯から野塚岳に向けてスノーシューを履いて入山、同日午前10時30分頃、野塚岳の標高1,200メートル付近の稜線上を登山中、トレッキングポールを斜面下に落としたため、同ポールを拾おうとしたところ、急傾斜の硬雪斜面を約10メートル滑落し、立木に衝突して顔面、胸部、腹部、右足を負傷、同日午前11時頃、同行者が119番通報し、救助要請（※防災ヘリが遭難者を救助）
33	2月28日	日	朝里岳(あさりだけ) 標高1281m (札幌市南区、小樽市)	2	1	北海道	女	50代	会社員	負傷	転倒	遭難者は、夫婦2人で午前9時頃、札幌国際スキー場に到着し、ゴンドラで山頂駅まで上がり、同所から朝里岳山頂方向へ山スキーで入山、同日午前11時10分頃、朝里岳東側斜面をスキーで滑走中、新雪にスキーの先端が刺さり、バランスを崩して転倒し、左足を負傷、同日午前11時30分頃、同行者が消防に通報し、救助要請（※札幌市消防ヘリが遭難者を救助）
34	2月28日	日	三段山(さんだんやま) 標高1748m (上富良野町)	8	1	北海道	男	40代	公務員	負傷	転倒	遭難者は、仲間と8人で午前9時頃、白銀荘から山スキーをするため三段山へ入山、同日午後0時頃、三段山の二段目から登山口の白銀荘に向けて山スキーで滑走中、白銀荘の手前約150メートルの地点で、新雪にスキーの先端が刺さり、バランスを崩して転倒し、左足を負傷（※同行者が白銀荘からスノーボードを借用して遭難者を登山口まで搬送）
35	2月29日	月	室蘭岳(鷲別岳) (むろらんだけ) 標高911m (室蘭市、登別市)	1	1	北海道	男	50代	会社員	負傷	悪天候	遭難者は、午前3時頃、だんばらスキー場から室蘭岳にスノーシューで入山したが、下山中に天候が悪化し、西尾根コースの東斜面(標高800メートル付近)で低体温症のため行動不能となる。同日午前10時過ぎ、遭難者と連絡がとれないことを心配した家族が消防へ通報。（※道警ヘリが遭難者を発見救助）

36	3月4日	金	ニセコアンヌプリ 標高1308m (虻田郡倶知安町、 ニセコ町)	3	1	フランス	男	30代	その他	負傷	その他 (立木衝突)	遭難者は、友人3人とニセコアンヌプリ国際スキー場に訪れ、午前10時頃からスキーをしていたが、同日午後0時20分頃、G1ゲートからスキー場コース管理区域に出てスキーで滑走中、同日午後0時35分頃、標高800メートル付近において雪に足をとられターンすることができず立木に衝突し、左足を負傷、同日午後0時40分頃、同行者が110番通報し、救助要請(※スキーパトロール隊が遭難者を救助)
37	3月8日	火	羊蹄山(ようていざん) 標高1898m (倶知安町、ニセコ町、 京極町、真狩村)	8	1	京都府	男	20代	大学生	負傷	滑落	遭難者は、8人パーティーで午前3時30分頃、羊蹄山の比羅夫コースからアイゼン歩行で入山し、同日午前9時10分頃に羊蹄山山頂に到着、その後、遭難者が8人パーティーの最後尾で下山を開始したが、同日午前11時10分頃、標高1100メートル付近の雪面が硬く凍った急斜面傾斜を下山中、左足に装着していたアイゼンが外れたため、付け直そうとしたところバランスを崩して約100メートル滑落し、左大腿部などを負傷、同日午前11時30分頃、同行者が消防に通報し、救助要請(※道警山岳遭難救助隊が遭難者を救助)
38	3月10日	木	ニセコアンヌプリ 標高1308m (虻田郡倶知安町、 ニセコ町)	2	1	中国	男	40代	会社役員	負傷	その他 (立木衝突)	遭難者は、友人と2人でニセコアンヌプリ国際スキー場に訪れ、午前10時頃、G2ゲートからスキー場コース管理区域に出てスノーボードで滑走中、同日午前10時15分頃、標高1000メートル付近において雪によりスノーボードの操作ができず立木に衝突し、左足を負傷、同日午前11時50分頃、同行者がスキー場のスキーパトロール室に駆け込み救助要請(※スキーパトロール隊が遭難者を救助)
39	3月10日	木	松倉岩(まつくらいわ) 標高711m (小樽市、赤井川村)	2	2	北海道	男	70代	無職	無事	道迷い	遭難者2人は、午前10時頃、小樽市天神にある浄水場からつぼ足で入山、同日午後0時頃、松倉岩山頂に到着したが、同山頂から下山する際、勘違いをして登山口と反対方向へ下ったため、山中で道に迷い、同日午後3時15分頃、110番通報し、救助要請(※道警山岳遭難救助隊が遭難者を発見救助)
						北海道	男	70代	無職	無事	道迷い	
40	3月10日	木	白老岳(しろおいだけ) 標高968m (伊達市、白老町)	1	1	北海道	男	60代	会社員	死亡	その他 (低体温症)	遭難者は、白老岳北側の滝笛トンネル付近から歩くスキーで入山したが(入山時刻不明)、同日午後5時20分頃、白老岳山頂付において体が動かなくなったと遭難者本人が119通報し、救助要請(※道警山岳遭難救助隊が遭難者を発見、消防救助隊とともに登山口まで搬送) ※死因～低体温症
41	3月12日	土	朝里岳(あさりだけ) 標高1281m (札幌市南区、小樽市)	10	1	韓国	女	10代	大学生	負傷	その他 (立木衝突)	遭難者は、知人ら10人でキロロスノーワールドスキー場に訪れていたが、同日午後0時20分頃、長峰第2Aコースから南側のスキー場コース管理区域外に出てスノーボードで滑走中、立木に衝突して左足を負傷、同日午後0時30分頃、同行者がスキー場関係者に救助要請(※スキーパトロール隊が出勤し、防災ヘリが遭難者を救助)
42	3月12日	土	長峰岳(ながみねだけ) 標高1080m (余市郡赤井川村)	2	1	北海道	男	30代	会社員	負傷	転落	遭難者は、友人と2人でキロロスノーワールドスキー場に訪れていたが、同日午後0時25分頃、長峰岳山頂から北側のスキー場コース管理区域外に出てスキーで滑走中、せり出した雪庇から約10メートル下の斜面に転落し、着地した際に背部及び腰部等を負傷、同日午後0時30分頃、同行者がスキー場関係者に救助要請(※スキーパトロール隊が遭難者を救助)
43	3月13日	日	余市岳(よいちだけ) 標高1488m (札幌市南区、 余市郡赤井川村)	2	2	北海道	男	70代	無職	無事	道迷い	遭難者2人は、午前10時30分頃、キロロスノーワールドスキー場朝里ゴンドラ山頂駅からスノーシューを履いて入山、同日午後0時頃、余市岳山頂に到着、同所で昼食後に天候が急変し、吹雪による視界不良で下山方向が分からなくなり、同日午後1時55分頃、スキー場関係者に電話連絡し、救助要請(※道警山岳遭難救助隊が遭難者2人を発見救助)
						北海道	女	50代	その他	無事	道迷い	
44	3月17日	木	徳舜瞥山 (とくしゅんべつやま) 標高1309m (伊達市)	4	1	北海道	女	40代	会社員	負傷	転倒	遭難者は、4人パーティーで午前9時30分頃、伊達市大滝区の登山口から徳舜瞥山に入山、同日午後0時10分頃、徳舜瞥山山頂に到着、休憩後に下山を開始したが、同日午後0時40分頃、標高1140メートル付近の斜面をつぼ足(登山靴にアイゼンを装着)で下山中、暖気で緩んだザクザクの雪面に足をとられて転倒し、右足を負傷、同日午後0時50分頃、同行者が消防に通報し、救助要請(※防災ヘリが遭難者を救助)
45	3月19日	土	手稲山(ていねやま) 標高1024m (札幌市手稲区、西区)	4	2	北海道	男	10代	中学生	無事	道迷い	遭難者2人は、午前10時30分頃、サッポロテイネススキー場のハイランドゾーンに訪れ、スキーをしていたが、同日午後、スキー場関係者がコース整備のためコースロープの一部を取り外していたところ、濃霧で視界不良の中、遭難者2人がスキー場コース外と気づかずスキー場コース管理区域外に出たため道に迷い、同日午後1時45分頃、110番通報し、救助要請(※スキーパトロール隊が遭難者を発見救助)
						北海道	男	10代	中学生	無事	道迷い	
46	3月21日	日	海別岳 (うなべつだけ) 標高1419m (斜里町、標津町、羅臼町)	3	1	北海道	男	20代	大学生	死亡	悪天候	遭難者は、3人パーティーで3月20日午前7時頃、斜里町側から海別岳に山スキーで入山したが、暴風雪による視界不良のため登山中に仲間1人がはぐれて単独下山、遭難者と仲間の2人で山頂を目指したが、悪天候のため途中で引き返し、下山中に深夜となったため樹林帯でビバークしていたところ、遭難者の意識がなくなったため、一緒にいた仲間が下山して3月21日午前4時50分頃、警察に救助要請。(※道警ヘリ、道警山岳遭難救助隊などが出勤し、道警ヘリが遭難者を発見救助) ※死因～低体温症
47	3月21日	日	旭岳(あさひだけ) 標高2291m (上川郡東川町)	2	1	東京都	男	50代	医師	無事	転落	遭難者は、友人と2人で旭岳スキー場に訪れ、午前11時頃から旭岳ロープウェイを利用して旭岳スキー場のコース管理区域外をスキーで滑っていたが、同日午後1時45分頃、旭岳ロープウェイ北側の標高1230メートル付近をスキーで滑走中、前方不注視により高さ2～3メートルの雪穴に転落して脱出できなくなり、同日午後1時55分頃、消防に通報し、救助要請(※防災ヘリが遭難者を発見救助)
48	3月25日	金	ニセコアンヌプリ 標高1308m (虻田郡倶知安町、 ニセコ町)	4	2	中国	男	50代	会社員	無事	その他 (行動不能)	遭難者2人は、仲間と4人でニセコアンヌプリ国際スキー場に訪れ、午後1時頃からスノーボードをしていたが、同日午後3時20分頃、8番ゲートからスキー場管理区域に出て滑走中、同日午後3時40分頃、同スキー場東側のスキー場コース管理区域外(標高640メートル付近)の斜面に形成されたクレバスに転落しそうになり、その場から動くことができなくなり、友人を介してスキー場関係者に救助要請(※スキーパトロール隊が遭難者2人を発見救助)
						中国	女	30代	会社員	無事	その他 (行動不能)	

49	3月26日	土	羊蹄山(ようていざん) 標高1898m (倶知安町、ニセコ町、 京極町、真狩村)	2	1	北海道	男	40代	会社員	死亡	雪崩	遭難者は、2人パーティーで午前5時30分頃に羊蹄山京極コースから入山、同日午前9時45分頃、羊蹄山7合目付近に到着し、同日午前10時頃から仲間と別れてスキー滑走を開始したが、約10分後、雪崩に巻き込まれて行方不明になる。(雪崩の規模は全長約1200メートル、幅10～20メートル) 同日午後0時35分頃、同行者が消防に救助要請し、消防、道警山岳遭難救助隊、陸上自衛隊等が出動し、遭難者の捜索を実施した結果、3月28日午後0時20分頃、羊蹄山標高895メートル付近の沢の中のデブリに埋没している遭難者を発見(※道警ヘリで遭難者を救助後、病院において死亡確認) ※死因～窒息
50	3月27日	日	手稲山(ていねやま) 標高1024m (札幌市手稲区、西区)	1	1	北海道	男	10代	中学生	無事	道迷い	遭難者は、家族とサッポロテイネスキー場に訪れ、午前10時30分頃から友人4人スキーをしていたが、同日午前11時頃に友人4人と分かれて一人でハイランドゾーン(ナチュラルコース)でスキーをしていたところ、スキー場コース管理区域外にスキーの滑走痕を見つけて興味本位でコース外に出てスキー滑走痕をたどって滑って行ったところ、途中でスキー滑走痕を見失い道に迷い、同日午後0時30分頃、110番通報し、救助要請(※道警ヘリが遭難者を発見救助)
51	4月1日	金	旭岳(あさひだけ) 標高2291m (上川郡東川町)	1	1	大分県	男	40代	無職	無事	道迷い	遭難者は午前9時頃からロープウェイを使用して旭岳スキー場をスノーボードで滑走していた。午後0時頃に3回目の滑走中に濃霧のためにコースを外れて自分の現在地が分からなくなり、午後4時44分に110番通報し、救助要請(※道警ヘリが遭難者を発見救助)
52	4月6日	水	利尻山(りしりざん) 標高1721m (利尻郡利尻町・利尻富士町)	2	2	北海道	男	20代	大学生	死亡	その他 (低体温)	遭難者2名は4月4日に利尻山の鬼脇方面から入山し、南陵ルートを経て鷺泊方面に下山する2泊3日(予備日2日)の行程で登山をしていたが、南峰の手前で1名が低体温症で行動不能となり、4月6日午後6時55分に知人を介して110番通報し、救助要請(※翌4月7日道警ヘリが遭難者2名を発見収容)
						北海道	男	30代	大学生	負傷	その他 (行動不能)	1名は死亡(低体温症)1名は負傷(翌日退院)
53	4月28日	木	春香山(はるかやま) 標高653m (札幌市南区、小樽市)	1	1	北海道	女	50代	その他	無事	道迷い	遭難者は午前8時20分に入山、12時頃山頂に到着し、下山したが道に迷ったため午後1時49分に110番通報し救助要請(※道警ヘリが遭難者を発見救助)
54	5月1日	日	芦別岳 標高1727m (富良野市)	2	1	北海道	女	40代	公務員	負傷	滑落	遭難者は40代男性と共に午前5時頃、芦別岳の旧道から入山し、ユーフレ小屋との中間地点にある斜面を登坂中に足を滑らせて約30メートル滑落し、右脇腹を負傷。同行者が110番通報し救助要請。(道警ヘリが遭難者を発見・救助)
55	5月2日	月	羊蹄山(ようていざん) 標高1898m (倶知安町、ニセコ町、 京極町、真狩村)	1	1	北海道	男	60代	無職	無事	道迷い	遭難者は午前7時頃真狩コースから入山し、午前11時ころに5合目付近から引き返して下山したが、途中で雪渓上の足跡を見失って道に迷い救助要請。(道警ヘリが遭難者を発見救助)
56	5月5日	木	春香山(はるかやま) 標高653m (札幌市南区、小樽市)	2	2	北海道	男	70代	無職	無事	道迷い	遭難者2名は春香山の山頂まで登頂し、下山する際に銀嶺荘で休憩した後、雪渓で足跡を見失って道に迷い、70代男性の足がけいれんして身動きがとれなくなり110通報で救助要請。(道警ヘリが遭難者を発見救助)
						北海道	女	70代	無職	無事	道迷い	
57	5月3日	火	神威岳(かむいだけ) 標高983m (札幌市南区)	1	1	北海道	男	60代	無職	無事	道迷い	遭難者は午前8時頃入山し、正午ころに烏帽子岳に到着して下山したが、神威岳の中腹付近で雪渓上の足跡を見失って道に迷い救助要請。(道警ヘリが遭難者を発見救助)
58	5月15日	日	風不死岳 (ふっぶしだけ) 標高1102m (千歳市)	2	1	北海道	男	60代	運転手	無事	病気 (心疾患)	遭難者は娘と共に入山し、正午頃、風不死岳の山頂で食事をした後に下山したが、下山途中の午後1時25分頃、遭難者が胸の痛みを訴えてうずくまったことから、同行者が消防に通報した。道防炎から依頼を受けた札幌市消防ヘリが救助。
59	5月21日	土	銭函天狗山 (ぜにばこてんぐやま) 標高536m (小樽市)	1	1	北海道	女	60代	無職	負傷	滑落	遭難者は午前11時ころ山頂に到着し、下山途中に足を滑らせて約4m滑落したもの。現場に居合わせた別の登山者が110番通報し、救助要請。(道警ヘリで救助)
60	5月22日	日	八剣山(はっけんざん) 標高498m (札幌市南区)	2	1	北海道	男	50代	会社役員	死亡	滑落	遭難者は妻と二人で入山し、山頂で写真撮影しようとしたところ、バランスを崩し足を滑らせて滑落したもの。現場に居合わせた別の登山者が110番通報し、救助要請。(札幌市消防ヘリで収容)

61	5月29日	日	徳舜瞥山 (とくしゅんべつやま) 標高1309m (伊達市)	20	1	北海道	女	60代	無職	負傷	転倒	遭難者は、20人パーティーで伊達市大滝区の登山口から徳舜瞥山に入山、徳舜瞥山山頂に到着し、休憩後に下山を開始したが、同日午後2時25分頃、6合目付近で前を歩く者を追い越そうとした際に足を滑らせて転倒し右足を負傷。119通報で救助要請（※同行者の介添えを得ながら下山）
62	5月28日	土	イワオヌプリ 標高1116m (蘭越町、倶知安町)	1	1	北海道	男	50代	団体職員	無事	道迷い	遭難者は午前9時頃単独でイワオヌプリに登り、山頂に登頂したが、下山中に雪渓で道に迷い、迷ったことを妻に連絡。妻から110番通報により救助要請。（別の登山者と一緒下山した）
63	6月5日	日	奥手稲山(ていねやま) 標高949m (札幌市手稲区、南区)	10	1	北海道	男	60代	会社役員	無事	道迷い	遭難者は午前11時50分頃、仲間9人と共に奥手稲山の近くにある山小屋を目指して出発。遭難者は仲間とはぐれ、焦っているうちに山小屋を通り過ぎ、沢に浸かって濡れてしまい動けなくなったもの。一度下山した仲間4人が助けに行き、遭難者と接触、捜索に入った消防隊員と共に下山した。
64	6月11日	土	大平山(おびらやま) 標高1191m (島牧村)	1	1	北海道	男	40代	会社役員	無事	道迷い	遭難者は午前6時頃入山し、山頂からの下山途中、笹藪で登山道が分からなくなり道に迷ったもの。函館西警察署に加入で救助要請。（道警へりにて救助）
65	6月21日	火	トムラウシ山 標高2141m (美瑛町、新得町)	2	2	大阪府	男	60代	無職	無事	道迷い	遭難者らは下山中に濃霧のため、コマドリ沢を通過する際に方向を間違え道に迷ったもの。知人を介して110番通報で救助要請。自力で登山道を見つけて下山し、捜索隊とカムイ天井付近で接触。
						大阪府	男	60代	アルバイト	無事	道迷い	
66	6月25日	土	黒岳(くろだけ) 標高1984m (上川町)	3	2	北海道	男	10代	大学生	負傷	滑落	遭難者らは3人パーティーで黒岳に登頂し、9合目付近を下山中に雪渓斜面で2名が滑落し、1名が首の痛みと手足のしびれを訴えて動けないことから、ロープウェイ事務所に救助要請があったもの。上川消防、地元遭対協、警察救助隊で7合目までおろし、リフトとロープウェイ、ドクターヘリで搬送した。
						北海道	男	20代	大学生	負傷	その他 (低体温)	
67	6月27日	月	幌尻岳(ほろしりだけ) 標高2052m (日高町、新冠町)	2	2	千葉県	男	60代	無職	負傷	滑落	幌尻岳に登頂した後、下山中の午後7時ころ林道を歩行中に一名が滑落し、それを助けようとしたもう一名も滑落。その日は痛みのため下山を断念してビバークし、翌日登山訓練中の新冠消防隊員に救助を求め、防災ヘリで救助。
						千葉県	男	60代	無職	負傷	滑落	
68	6月28日	火	旭岳(あさひだけ) 標高2291m (上川郡東川町)	3	1	北海道	女	60代	自営業	負傷	転倒	旭岳の山頂から下山中の7合目付近で転倒し左足首を負傷したもの。同行者が110番通報し、警察ヘリで救助。
69	6月28日	火	化雲岳(かうんだけ) 標高1954m (上川郡上川町)	2	1	栃木県	男	50代	会社員	負傷	その他 (体調不良)	遭難者は27日に旭岳から入山し、28日の昼頃、化雲岳の山頂でめまいのため、一時意識混濁状態となり、同行者が119番通報し、防災ヘリで救助した。
70	6月30日	木	暑寒別岳 (しょかんべつだけ) 標高1492m (増毛町、雨竜町、北竜町)	4	1	神奈川県	女	60代	無職	負傷	その他 (ケガ)	遭難者は雨竜沼の南暑寒荘から箸別コースに至る行程で登山を実施。箸別コースを下山中の4合目付近で左膝の裏に痛みが生じ、歩行不能となったもの。同行者が増毛消防に架電し救助要請。防災ヘリで救助。
71	7月2日	土	手稲山(ていねやま) 標高1024m (札幌市手稲区、西区)	2	1	北海道	女	30代	無職	負傷	病気 (低血糖)	遭難者は平和の滝コースから夫とともに入山し、2時間程登ったところで低血糖の症状を呈し、下山するも行動不能となり、119通報、市消防ヘリで救助。
72	7月4日	月	幌尻岳(ほろしりだけ) 標高2052m (日高町、新冠町)	6	1	神奈川県	女	60代	無職	負傷	転倒	6人パーティーで午前8時頃入山、午前11時30分頃、沢沿いの登山道を歩行中、岩に足を乗せたところ滑って転倒し右顔面と右腰部を負傷し、119番通報、防災ヘリで救助。
73	7月7日	木	黒岳(くろだけ) 標高1984m (上川町)	1	1	埼玉県	男	60代	無職	負傷	その他 (ぎっくり腰)	遭難者は午前9時頃黒岳7合目リフトから登山を開始し、黒岳石室に宿泊予定であったが、黒岳山頂から石室へ向かう途中で、残雪に体力を奪われて腰に力が入らなくなって歩行不能となったもの。ロープウェイ職員を介して救助要請、道警ヘリで救助。

74	7月8日	金	利尻山(りしりざん) 標高1721m (利尻郡利尻町・利尻富士町)	4	1	神奈川県	女	60代	自営業	負傷	病気 (脳梗塞)	遭難者は4人パーティで入山し、7合目を過ぎたあたりで急に呂律が回らなくなり、横たわったもの。同行者が救助要請し防災ヘリで救助。
75	7月9日	土	永山岳(ながやまだけ) 標高2046m (上川町)	21	1	北海道	男	60代	無職	負傷	滑落	遭難者は仲間が行方不明になったと誤認し、探している途中、村雨の滝で足を滑らせて滑落したもの。仲間が119通報し救助要請。(自力下山)
76	7月9日	土	無意根山 (むいねやま) 標高1464m (札幌市南区)	5	1	北海道	男	20代	不明	無事	その他 (過呼吸)	遭難者は友人4名と共に薄別コースから登山中、山小屋を過ぎたあたりで過呼吸になり動けなくなったもの。市消防ヘリで救助。
77	7月12日	火	カムイエクウチカウシ 山(標高1979m) (中札内村、新ひだか町)	1	1	大阪府	男	70代	無職	無事	道迷い	単独登山で山頂を目指している途中でルートを誤り、傾斜の急な場所へ出てしまい、登ることも降りることもできず、119通報したもの。防災ヘリで救助。
78	7月13日	水	伏美岳(ふしみだけ) 標高1792m (芽室町)	2	1	北海道	男	60代	無職	無事	その他 (足の痙攣)	遭難者は伏美岳山頂に到着したあと、休憩中に足が痙攣し歩けなくなったことから、同行者が消防通報、道警ヘリが救助に向かうも、天候不良で現場進入不可。遭難者は自力で下山し、2合目付近で救助隊と合流し下山したものの。
79	7月13日	水	雄阿寒岳 (おあかんだけ) 標高1371m (釧路市)	1	1	愛知県	女	70代	無職	無事	道迷い	雄阿寒岳へ単独登山後、下山中に日没となり、下山不能と判断して案内救助を求めたもので、消防隊員と警察官が1合目付近で遭難者を発見し一緒に下山。
80	7月16日	土	黒岳(くろだけ) 標高1984m (上川町)	1	1	北海道	男	60代	会社役員	負傷	転倒	遭難者は単独で黒岳から旭岳へ縦走する計画であったが、黒岳の石室を通過した登山道で左足を地面に着けたときに激痛が走り、その場から動けなくなったもの。通りがかった登山者に石室まで運ばれ110で救助要請。翌日警察ヘリで救助。
81	7月16日	土	恵庭岳(えにわだけ) 標高1319m (千歳市)	1	1	北海道	女	40代	無職	死亡	不明	遭難者は午前8時頃、家族に「恵庭岳に登山に行く」と告げて家を出たが、夜になっても戻らないことから家族が登山口を探したところ、遭難者の使用車両が駐車場に停まっていた。平成28年9月24日、救助隊員が再捜索を実施したところ、標高600mの崖下で行方不明者を発見。
82	7月17日	日	斜里岳(しゃりだけ) 標高1547m (斜里町、清里町)	3	1	北海道	女	30代	事務職員	負傷	転倒	遭難者は3人パーティで入山、登山中に万丈の滝付近で足を滑らせ左足首を負傷、同行者が110番通報し、道警山岳救助隊員が出動し遭難者と接触、搬送しながら下山中に防災ヘリが到着し、引き継ぎする。
83	7月17日	日	富良野岳(ふらのだけ) 標高1912m (富良野市、上富良野町)	6	1	北海道	男	50代	会社員	負傷	転倒	遭難者は6人パーティで凌雲閣から入山、富良野岳山頂に登頂後下山中に転倒し、右足首を負傷、道警山岳救助隊と消防隊員で遭難者を搬送し下山したもの。
84	7月17日	日	トムラウシ山 標高2141m (美瑛町、新得町)	2	1	東京都	男	20代	大学生	無事	その他 (足の痙攣)	遭難者は下山中。トムラウシ公園付近で右足が痙攣し、カムイ天井付近で歩行困難となったため、110番通報し救助要請。道警山岳救助隊員が出動するも、登山口まで自力で下山したもの。
85	7月18日	月	石倉山(いしくらやま) 標高500m (小樽市)	1	1	北海道	男	10代	高校生	無事	道迷い	遭難者は札幌市北区の自宅から徒歩にて小樽市に向かう途中、近道のため石倉山に入ったが、山道を外れて道の迷い、救助要請したもの。警察ヘリで発見救助。
86	7月23日	土	羅臼岳(らうすだけ) 標高1661m (斜里町、羅臼町)	1	1	大阪府	男	40代	会社員	無事	道迷い	遭難者は羅臼町側から入山し9合目付近を登山中に熊に遭遇して対峙しているうちに登山道を見失い、道に迷ったもの。警察ヘリで発見救助。
87	7月26日	火	八内岳(やちないだけ) 標高943m (岩内郡共和町)	3	1	神奈川県	男	80代	無職	無事	道迷い	遭難者は7月25日、登山仲間2名と八内岳に向かったが、藪道のため、それぞれバラバラになり、日没になったことから山中でビークした。7月26日も山中をさまよひ、午後3時30分ごろ、先に下山した仲間が110番通報、警察、消防が捜索するも発見に至らず、翌朝(7月27日)警察ヘリで発見救助した。
88	7月30日	土	斜里岳(しゃりだけ) 標高1547m (斜里町、清里町)	5	1	北海道	女	60代	無職	負傷	転落	遭難者は5人パーティで斜里岳に登頂し、新道を下山中、熊見峠付近で登山道から足を踏み外して約2m転落し両肩と左大腿部を負傷、仲間が110番通報し警察救助隊と地元消防によって担架搬送で救助された。
89	8月1日	月	小化雲岳 (ぼんかうんだけ) 標高1924m (美瑛町)	4	1	福岡県	男	20代	大学生	死亡	不明	遭難者は仲間3人と共に、ヒサゴ沼キャンプ場から天人峡に向けて下山予定であったが、第2公園の手前で仲間「先に行ってくれ」と言ったため、仲間3人は先に下山。遭難者が戻らないことで110番通報に至り、警察、消防、自衛隊で捜索中の8月3日に自衛隊ヘリが、登山道から外れた崖下にいる遭難者を発見、警察ヘリで収容。

90	8月4日	木	幌尻岳(ほろしりだけ) 標高2052m (日高町、新冠町)	5	1	北海道	男	70代	無職	死亡	転落	遭難者は仲間4人と幌尻岳(新冠コース)に登頂後、下山中にバランスを崩して登山道から東側の沢に転落し、仲間が引き上げるも脈、呼吸がない状態であった。仲間が幌尻山荘から衛星携帯で救助要請し、警察ヘリで発見収容した。
91	8月8日	月	三角山(さんかくやま) 標高311m (札幌市西区)	1	1	北海道	男	80代	無職	負傷	その他 (体調不良)	遭難者は大倉山から入山し、三角山の山頂付近で具合が悪くなり、嘔吐などの症状から119番で救助要請、札幌市消防ヘリで救助
92	8月10日	水	十勝岳(とちかちだけ) 標高2077m (美瑛町、上富良野町、新得町)	1	1	大阪府	男	60代	無職	無事	道迷い	遭難者は十勝岳登頂後の下山中に道に迷って登山道から外れ、周囲も暗くなって疲労がピークに達して110番で救助要請。救助隊員が遭難者を発見して付き添いながら下山。
93	8月12日	金	羊蹄山(ようていざん) 標高1898m (倶知安町、ニセコ町、京極町、真狩村)	1	1	京都府	男	50代	会社員	無事	その他 (脱水症)	遭難者は8月11日に単独で入山、下山中に真狩コースの7合目付近で脱水症となり同所でビバーク。翌朝119番で救助要請、防災ヘリで救助
94	8月12日	金	戸蔦別岳 (とったべつだけ) 標高1959m (新冠町、平取町、帯広市)	2	1	北海道	男	40代	会社員	負傷	転倒	遭難者は2名で戸蔦川を沢詰めする計画で入山したが、沢登り中に転倒し左胸を強打して負傷したことから、同行者が下山して110番で救助要請、警察ヘリで救助
95	8月13日	土	芦別岳 標高1727m (富良野市)	2	1	北海道	男	60代	会社員	負傷	滑落	遭難者は同僚と2名で芦別岳旧道から入山、1時間程登った地点で登山道から足を滑らせて約10m滑落し頭部を負傷、同行者が119番で救助要請し、防災ヘリで救助
96	8月27日	土	雌阿寒岳 (めあかんだけ) 標高1499m (釧路市、白糠町、足寄町)	1	1	北海道	男	60代	会社員	負傷	滑落	遭難者は野中温泉コースの5合目と6合目の中間付近で山菜を採ろうと登山道から外れたところ約10m滑落して股関節脱臼の負傷を負い、防災ヘリで救助
97	8月27日	土	尻別岳(しりべつだけ) 標高1107m (真狩村、留寿都村)	1	1	佐賀県	男	70代	無職	負傷	その他 (体調不良)	遭難者は単独で尻別岳に登頂後、脱水により両手足が痙攣して動けなくなり倶知安消防へ救助要請、警察ヘリで救助
98	9月1日	木	雷電峠 (らいでんとうげ) 標高560m (岩内町)	2	1	北海道	男	30代	会社員	負傷	滑落	遭難者は仲間と二人で昼過ぎに入渓し、沢登りを開始。午後4時頃約10mの滝から滑落し左足を負傷、同行者が110番で救助要請し消防隊員がストレッチャーに乗せて救助。
99	9月3日	土	斜里岳(しゃりだけ) 標高1547m (斜里町、清里町)	1	1	東京都	男	60代	会社員	無事	その他 (装備不備)	遭難者は午後12時45分頃単独で入山、午後4時頃山頂に到着し、下山するも日没で暗くなり下山不能となったもの。遭難者の妻が警察署に通報、警察救助隊と消防隊員で接触し、遭難者に付き添って下山。
100	9月4日	日	芦別岳 標高1727m (富良野市)	1	1	東京都	男	70代	製本業	無事	道迷い	遭難者は9月4日に単独で入山し、ユーフレ小屋を目指したが道がわからなくなってビバークし、翌日疲労で衰弱したため110番で救助要請、警察救助隊が遭難者と接触し、警察ヘリで救助。
101	9月5日	月	羊蹄山(ようていざん) 標高1898m (倶知安町、ニセコ町、京極町、真狩村)	16	1	北海道	女	60代	無職	負傷	転倒	遭難者は16人パーティーで羊蹄山に登頂後、1合目半付近を下山中に、足を踏み外して右足首を負傷、同行者が消防通報し接触した消防隊員と共に下山。
102	9月6日	火	黒岳(くろだけ) 標高1984m (上川町)	1	1	東京都	男	50代	声楽家	負傷	その他 (体調不良)	遭難者は9月2日から単独で入山し、大雪山系の山を登っていたが、9月5日に右膝が痛くなり黒岳の石室に宿泊したが、翌日も右膝の状態が悪く、石室の管理人を通じて救助要請、警察救助隊と消防隊員で担架、背負い搬送で下山。
103	9月18日	日	雄阿寒岳 (おあかんだけ) 標高1371m (釧路市)	2	2	北海道	男	70代	無職	無事	その他 (装備不備)	遭難者2名は雄阿寒岳に登頂後下山途中に日没となってしまう、照明器具もなく登山道を外れて道に迷い、119番で救助要請。消防隊員と警察官が1合目付近で発見。
						北海道	女	60代	無職	無事	その他 (装備不備)	
104	9月22日	金	羊蹄山(ようていざん) 標高1898m (倶知安町、ニセコ町、京極町、真狩村)	7	1	北海道	男	30代	会社員	無事	その他 (装備不備)	遭難者は7名パーティーで入山するも、それぞれのペースで登ったことから仲間とはぐれ、下山中に日没となり照明器具の電池切れから行動不能となり、仲間が下山しない遭難者を心配して119番通報した。消防隊員により真狩5合目で発見、付き添いながら下山するも、途中で疲労から自力歩行不可となり、担架搬送した。
105	9月18日	日	恵山(えさん) 標高618m (函館市)	1	1	北海道	女	40代	アルバイト定員	無事	道迷い	恵山の山頂から下山途中、濃霧のため視界不良となり、道に迷ったため110番通報。駐在所員が入山し登山道上にいる遭難者を発見し付き添いながら下山。

106	9月20日	水	利尻山(りしりざん) 標高1721m (利尻郡利尻町・利尻富士町)	5	1	香港	男	50代	不詳	無事	疲労	遭難者は仲間5名と鴛泊コースから登山を開始し、山頂を経て沓形コースに下山する予定であったが、疲労で動けなくなり沓形コースの9合目付近で休憩した。翌朝下山をはじめ、5合目付近にいるところを道警ヘリで救助。
107	9月27日	火	八剣山(はっけんざん) 標高498m (札幌市南区)	2	1	北海道	男	60代	無職	死亡	滑落	遭難者は下山中に登山道から足を踏み外し滑落、同行者が119番通報し、消防救助隊が捜索したところ、意識なしの状態で見つかり、札幌市消防ヘリで収容。
108	10月1日	土	円山(まるやま) 標高225m (札幌市中央区)	2	1	北海道	女	60代	事務員	負傷	転倒	遭難者は姉と二人で入山し、下山途中に濡れた登山道で足を滑らせて転倒し足を挫いたもの。姉が119番通報し消防隊が担架搬送して救助。
109	10月17日	火	トムラウシ山 標高2141m (美瑛町、新得町)	1	1	兵庫県	男	60代	会社員	無事	道迷い	遭難者は単独でトムラウシ山に登頂後、下山途中に濃霧のため登山道を見失ったために、山中でビバークし、翌朝道警の救助隊が発見し、ヘリにて救助。
110	10月23日	日	旭岳(あさひだけ) 標高2291m (上川郡東川町)	1	1	宮城県	男	50代	公務員	不明	不明	遭難者は単独で旭岳へ登り、途中、いくつかの目撃情報があるも下山せず、警察、自衛隊等で捜索するも行方不明となっている。
111	10月29日	土	春香山(はるかやま) 標高653m (札幌市南区、小樽市)	1	1	北海道	男	50代	医師	無事	道迷い	遭難者は単独で入山し、途中から林道を逸れて笹藪に入ってしまったため、道に迷ったため119番通報で救助要請。防災ヘリで救助。
112	11月19日	土	三段山(さんだんやま) 標高1748m (上富良野町)	2	1	北海道	女	50代	看護師	負傷	滑落	遭難者は2名パーティーで凌雲閣側から入山、標高1450m付近を登山中に凍結した雪面で足を滑らせて約100m滑落(アイゼンの装着なし)、前額部、胸部を負傷、防災ヘリで救助。
113	12月10日	土	カルルス山 標高1075m (登別市)	1	1	北海道	男	30代	会社員	無事	その他 (体調不良)	遭難者はオロフレ峠展望台からスノーシューで入山、カルルス山の山頂から下山中に急に胸が苦しくなり、下山すべき方向がわからなくなったため110番で救助要請をするも、その後体調回復し、自力で下山したもの。
114	12月17日	土	三角山(さんかくやま) 標高311m (札幌西区)	1	1	北海道	男	60代	無職	死亡	病気	別の登山者から「三角山の山頂付近で人が倒れている」との119番通報により、防災ヘリで遭難者を収容し、病院へ搬送するも死亡と診断。
115	12月20日	火	手稲山(ていねやま) 標高1024m (札幌市手稲区、西区)	1	1	北海道	男	40代	公務員	無事	道迷い	遭難者は南林間コースをスキーで滑っているうちにコース外に出てしまって道に迷ったとのことで、119番通報して消防ヘリで救助されたもの。
116	12月25日	日	藻琴山(もことやま) 標高1000m (美幌町、大空町、小清水町、弟子屈町)	1	1	北海道	男	40代	自営業	無事	道迷い	遭難者はスノーボード滑走を目的に入山し、藻琴山の屏風岩付近で道に迷い、自分のいる場所がわからなくなり、110番通報で救助要請。道警ヘリで救助されたもの。
117	12月28日	水	朝里岳(あさりだけ) 標高1281m (札幌市南区、小樽市)	1	1	北海道	男	40代	会社員	無事	道迷い	遭難者は、札幌国際スキー場の管理区域外に出てスノーボードで滑走中に自分の居場所がわからなくなり、同日午後4時27分頃、119番通報し救助要請(※消防救助隊、スキーパトロール及び道警山岳救助隊が出動し、遭難者を発見救助)
118	12月30日	金	ニセコアンヌプリ 標高1308m (虻田郡倶知安町、ニセコ町)	1	1	北海道	女	30代	会社員	無事	道迷い	遭難者は、ニセコグランヒラフスキー場からシュプールの跡を追って管理区域外に出て、自分の居場所がわからなくなり、同スキー場に救助要請(※スキーパトロール隊が出動し、遭難者を発見救助)
119	12月30日	金	トマム山 標高1239m (占冠村、南富良野町)	1	1	北海道	男	50代	会社員	無事	道迷い	遭難者は、トマムスキー場東側の管理区域外をスノースケートで滑走中に道に迷い、行方不明となり、遭難者の家族から捜索要請を受理(※12月31日早朝から道警山岳救助隊、スキーパトロール隊が出動、同日正午ころ道警ヘリが遭難者を発見救助)